

おおむた 市議会だより

第211号

令和元年度
12月議会

令和2年(2020年)2月1日発行

インターネット議会中継配信
過去の録画*も視聴できます

大牟田市議会

検索

※過去5年間分

右のQRコードで
スマートフォン・
タブレットでも
見れます



議会質問はどんな観点
からしているの

市民の意見は
どんな方法で聞くの

庁舎はどうなるの



中友小学校 校外学習

(令和元年12月11日)

【主な記事】

- 意見・要望を市長に提出し、回答を依頼しました／ぎかいの話題(2・3ページ)
- 今年も完走しました！リレーマラソン／トピックス(11ページ)
- 私たちの暮らしを支える政治／おおむた自慢(12ページ)

ぎかいの話題

意見・要望を市長に提出し、回答を依頼しました

令和元年度「議会報告会」は、昨年8月に市内9会場で開催しました。参加された皆さんから、市議会に対する意見・要望のほか、市行政に対する意見・要望も多く出されました。この「議会報告会」で出された意見・要望を踏まえながら、9月議会の質疑質問や決算特別委員会で議論したところです。

さらに、「まちづくり・活性化特別委員会」においては、まちづくり総合プランに係る意見・要望をとりまとめる中で、全会派・無所属委員全員の賛同により合意形成が図られた以下の意見・要望について、昨年11月、議会の総意として市長に提出し、新年度予算案提出時まで文書での回答を依頼しました。

【まちづくり・活性化特別委員会で合意形成を図った意見・要望】（要約）

○第6次総合計画まちづくり総合プランに反映し、特に重点的に取り組むべきもの

1. 地元雇用の促進

人口減少対策には、若者の地域企業等への就職支援などの流出防止対策が必要不可欠。

そのため、地域企業への人材確保支援については、高校生や大学生などの若者を中心に考え、施策の推進には、若者の流出防止対策による定住促進の取り組みが経済活性化につながることを意識しながら重点的に取り組んでほしい。

また、Uターンなどで移住を希望する若者、学生やその家族に、地域企業の情報提供、周知を徹底してほしい。

2. 生活・子育てしやすい環境づくり

移住・定住の促進には、本市の持つ総合的に豊かな環境のより一層のアピールと生活・子育て環境の充実が必要。

そのため、まず、幼児教育から小中学校、高校、高専、大学まで充実した教育、医療機関、交通アクセスなどの整った環境や利便性をアピールしてほしい。

また、病時保育や平日夜間診療、救急医療体制、学童保育所・クラブの充実といった本市の強みとなる取り組みをさらに充実してほしい。

3. 健康づくりや健康寿命の延伸

健康に関する取り組みについては、市民の健康増進や介護予防だけではなく、医療費の抑制など財政状況の改善にもつながるものであり、長期的なまちづくりの視点からも重要である。

そのため、次年度より設置される大牟田市保健センターについては、市民のあらゆる健康にかかわる事業に取り組みられることとされているが、その位置づけと活用を明確にするとともに、実効的な取り組みを推進してほしい。

議員のよこ顔(その3) 前々号から4回にわたって全議員を紹介しています。



平山 伸二
議員

①59歳 ②西宮浦町 ③海や山の景色を見ること、音楽鑑賞、映画鑑賞 ④九思一言（孔子の言葉）言葉は人に勇気を与えるが逆もあり、よく考えて発することが大事 ⑤海、山、街、農・水産・商業あり、全てあるところ、有明海に浮かぶ夕日など ⑥長所は嫌いな食べ物が少ない、短所は気が短いところ。



古庄 和秀
議員

①47歳 ②柿園町 ③温泉 ④一球入魂 ⑤風光明媚で、気候が良く、災害が少なく、交通の便が良く、物価も安く、暮らしやすい。海の幸、山の幸も多く、お好み焼き、ラーメンなどのおいしいものが多い。 ⑥長所：諦めずに粘り強く取り組むこと、短所：短気



平山 光子
議員

①72歳 ②倉永 ③フラダンス ④微力だけど無力ではない。尊々我無（今日も元気で生きていけること、森羅万象の全てに感謝です） ⑤暖かい、物価が安い、生まれ育った思い出いっぱい故郷 ⑥単純ですぐ感動する、涙もろい、忘れっぽい、家族からは声が大きすぎると…短所は長所、個性だと開き直っています。



松尾 哲也
議員

①59歳 ②田隈 ③ソフトテニス、ゴルフ ④命に過ぎたる宝なし（生命ほど大切な宝はこの世にない。健康第一） ⑤温暖な気候、自然災害が少なく、物価が安いところ。 ⑥短気だと思う（年齢とともに長くなったかな?）。自分の意見を言う前に、相手の言うことを聴けることを長所にしたいと日々思う。

【まちづくり・活性化特別委員会で合意形成を図った意見・要望】（要約）
○令和2年度予算案及び事業等に反映する必要があると思われるもの

1. 様々な課題を抱える子どもたちへの支援

相談件数は年々増加し、様々な課題の解決には学校や家庭、地域も含めて取り組みが必要で、小中学校でのスクールソーシャルワーカーの体制強化に加え、家庭と地域をつなぎ、小中学校を初め関係機関とも連携し、子育て世代包括支援センターにもソーシャルワーカーを配置してほしい。

2. 小中学校へのエアコン設置

普通教室等へは設置されたが、避難所となる体育館などへの設置も今後想定され、未設置の特別教室への対応も含め、各学校の意向調査も行いながら、国等の有利な財源が確保できる場合にも即応できるよう、設置計画の策定に取り組んでほしい。

3. 若者を中心とした地元雇用促進

新卒の若者や市外からのUターン希望者の就職に対する事業を充実させ、学校、地域企業や関係機関の相互理解を図り、受け皿となる様々な地域企業を生徒やその家族が知

るためにさらなる周知を行い、地元雇用を促進してほしい。

4. 大牟田市中心市街地活性化基本計画の見直し

これまでの取り組みを検証し、商業振興についても、売り手と買い手のニーズ、地域の課題も調査し、タウンマネージャーとも協力しながら、にぎわいや魅力、新たな商業の創出につながる実効性のある取り組みを充実してほしい。

5. 県への保健所の設置主体の変更

食品営業許可は、2年度は更新期に臨時申請窓口が開設されるが、その実施状況等を検証し今後も県と協議してほしい。また、臨時営業許可は、申請件数が多いことやイベント等での安心安全の確保のためにも、本市で申請できるよう引き続き検討してほしい。

3年度から県事務所へ変更される医療費助成制度の申請は、実施状況等を検証し市民への影響を緩和してほしい。

6. 健康いきいきマイレージ事業

事業の性質上、成果に結び

つくまで一定時間がかかり、継続して効果を上げるにも、事業目的、課題等を整理・検証し、事業のあり方や実施手法を含め総括を行い、より良い事業を構築してほしい。

7. 地域公共交通網形成計画

高齢化に伴う免許返納など、地域の交通網に関わる社会情勢への対応のため民間事業者等と協議・協力し、交通弱者に配慮した具体的な取り組みに着手しながら計画を進めてほしい。また、公共交通空白地域の解消への取り組みを2年度予算へ反映してほしい。

8. シティプロモーション

市として総合的に統括する機能の強化に加え、たーんとよかところ協議会や観光協会との連携や役割分担が明確でなく、今後の方向性やあり方が問われているため、まずは現戦略を総括してほしい。

また、地域資源を生かし、メディアなどを活用し効果的に取り組みながら、次期戦略を策定、推進してほしい。



光田 茂
議員

①70歳 ②諏訪町 ③スポーツ観賞
④成せばなる、成さねばならぬ 何事も ⑤気候が温暖で住みやすい。また医療機関や学校が充実している。 ⑥長所・短所はやかましいところもありつつ、相手の気持ちを理解しその立場で考えるところ



三宅 智加子
議員

①60歳 ②平原町 ③フルス演奏（中国雲南省の民族楽器）、観劇、スポーツ観戦、園芸 ④心こそ大切なれ（素直な心、負けない心） ⑤人情味溢れる人柄、懐深く包んでくれる三池山、有明海の夕日、青空や夕空に映えるメタセコイアの樹形 ⑥楽観的、意外と頑固

ぎかいの話題

本会議運営のあらまし

令和元年度大牟田市一般 会計補正予算などを可決

12月議会

令和元年度12月議会は、12月13日に招集され、12月25日までの13日間の会期で運営しました。

定例会で審議した議案等は、病児・病後児保育事業の実施による経費及び大牟田駅西口に設置している路面電車の内部改修や屋根設置経費などを

計上した8,190万円を増額する令和元年度大牟田市一般会計補正予算並びに令和元年度大牟田市介護保険特別会計補正予算の予算議案2件、大牟田市葬斎場条例の一部改正などの条例議案11件、指定管理者の指定に関する議案5件、市道路線の認定に関する議案などの議案5件及び意見書案の発議6件の計29件でした。

本会議では、人口減少対策、市庁舎整備、夜間中学の設置、総合体育館整備、介護予防などの諸課題に10人の議員が登壇し、市長をはじめ当局に質問しました。

本会議最終日までに、意見書案の発議2件を除いた議案、発議をそれぞれ可決、同意して本会議を閉会しました。

議会日誌（10月～12月）

【10月】

- 2日 広報広聴委員会広聴部会
- 9日 総務委員会
- 15日 広報広聴委員会広聴部会
広報広聴委員会広聴部会
- 25日 広報広聴委員会広聴部会

【11月】

- 1日 広報広聴委員会
総務委員会
市民教育厚生委員会
- 5日 まちづくり・活性化特別委員会
- 11日 各派代表者会
議会運営委員会

【12月】

- 6日 議会運営委員会
各派代表者会
- 12日 市民教育厚生委員会
総務委員会
都市環境経済委員会
- 13日 第4回定例会本会議〔開会〕
広報広聴委員会広聴部会
- 18日 第4回定例会本会議〔質疑質問〕
- 19日 第4回定例会本会議〔質疑質問〕
- 20日 第4回定例会本会議〔質疑質問〕
請願等調整委員会
- 23日 総務委員会
市民教育厚生委員会
都市環境経済委員会
- 25日 各派代表者会
議会運営委員会
第4回定例会本会議〔採決、閉会〕
広報広聴委員会広聴部会



委員会メモ



庁舎整備に関するアンケート について〔委員間討議〕

【総務委員会】

11月1日の委員会で、庁舎整備に関するアンケートについて委員間討議を行いました。

委員会終了後、アンケートについては、幅広く意見を聞き参考にするという意味でも大切との意見や、新市長の下で行うべきであるとの意見など、各会派の意見を当局に報告しました。

中学校再編の方向性 見直される

【市民教育厚生委員会】

11月1日の委員会で、学校適正規模・適正配置計画第2期実施計画（案）について、地域説明会等で寄せられた意見、全市的計画、法改正等の視点を加味して見直した最終案の内容及び今後のスケジュールの説明を受けました。

これを受け、夜間中学の設置、小中一貫校等について質疑を交わしました。

空き地及び空家等対策計画

【都市環境経済委員会】

12月12日の委員会で、大牟田市空き地及び空家等対策計画について、第1次計画の計画期間が令和元年度までであることから、第2次計画案を作成した旨の報告を受けました。また、対策計画改定までのスケジュールの説明を受けました。

これを受け、地域住民を対象とした座談会等について質疑を交わしました。

総合計画について 〔委員間討議〕

【まちづくり・活性化特別委員会】

11月5日の委員会で、次期総合計画に係る要望などについて、全委員の合意形成を図るため、作業部会で作成された文案をもとに、各会派・委員の意見を持ち寄り、委員間討議を行いました。

全委員の合意形成が図られた計11項目については、後日、議長に報告し、市の政策等に反映されるよう市長に申し入れを行いました。（本紙2・3ページ記載）

議案等の審議結果

議案等名	議員名	自民・未来クラブ										公明党議員団				社民・国民民主・護憲クラブ				無所属			賛成数	審議結果			
		徳永春男	江上しほり	桑原誠	境公司(議長)	島野知洋	城後徳太郎	中原誠悟	光田茂	森遵	森竜子	山口雅夫	三宅智加子	大野哲也	塩塚敏郎	平山伸二	山田修司	松尾哲也	平嶋慶二	平山光子	古庄和秀	森田義孝			北岡あや	崎山恵子	山田貴正
発議第16号	後期高齢者の窓口2割負担への引き上げを行わないことを求める意見書案	×	×	×	-	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	7	少数否決	
発議第17号	要介護1・2の保険外しの中止を求める意見書案	×	×	×	-	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	7	少数否決	
議案第48号	令和元年度大牟田市一般会計補正予算	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	21	多数可決
議案第51号	大牟田市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	21	多数可決
議案第53号	大牟田市あらゆる差別の撤廃をめざす人権擁護条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	21	多数可決
議案第54号	大牟田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	21	多数可決
議案第57号	大牟田市葬斎場条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	21	多数可決
議案第58号	大牟田市飼い犬の管理及び野犬の取締りに関する条例を廃止する条例の制定について	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	21	多数可決
議案第59号	大牟田市浄化槽保守点検業者の登録に関する条例を廃止する条例の制定について	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	21	多数可決

■大牟田市議会では、採決に起立採決を採用しています。起立採決は、議長が議案等に賛成の意思のある議員に起立を求めます。一覧表については、起立した議員を○と表記し、それ以外の議員を×と表記しています。また、空白は欠席または表決の棄権を表します。なお、議長は採決に加わることはできません。

下記議案等については全員賛成で可決、同意

議案第 49 号	令和元年度大牟田市介護保険特別会計補正予算
議案第 50 号	大牟田市選挙管理委員会が管理執行する選挙における選挙長等の報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 52 号	大牟田観光物産館条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 55 号	大牟田市公営住宅下水処理施設条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 56 号	大牟田市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 60 号	大牟田市水道事業及び公共下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 61 号	指定管理者の指定について（大牟田観光プラザ及び新大牟田駅観光プラザ）
議案第 62 号	指定管理者の指定について（大牟田市花ぶらす館）
議案第 63 号	指定管理者の指定について（大牟田市エコサンクセンター）
議案第 64 号	指定管理者の指定について（大牟田市市民活動等多目的交流施設）
議案第 65 号	指定管理者の指定について（大牟田市御大典記念グラウンド、大牟田市笹林庭球コート、大牟田市武道場、大牟田市第二市民体育館及び大牟田市第二グラウンド並びに大牟田市延命球場及び大牟田市市民体育館）
議案第 66 号	市道路線の認定について
議案第 67 号	請負契約の一部変更について（大牟田市高泉市営住宅（2期）新築工事）
議案第 68 号	請負契約の一部変更について（大牟田市高泉市営住宅（2期）新築に伴う管設備工事）
議案第 69 号	財産の取得について（災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型）
議案第 70 号	大牟田市公平委員会委員の選任について〔中尾哲郎氏〕
発議第 18 号	令和元年台風19号等からの復旧・復興に向けた対策を求める意見書案
発議第 19 号	豚コレラの早期終息に向けた緊急かつ具体的な対策を求める意見書案
発議第 20 号	地域医療を守り必要な公立病院等の維持・存続を求める意見書案
発議第 21 号	被災者生活再建支援法の改正を求める意見書案

インフォメーション

■次の定例会は2月です

詳細については、市議会事務局（41-2800）までお問い合わせください。また、ホームページでもお知らせします。

■傍聴のお知らせ

本会議の傍聴ができます。傍聴席へは、市役所本庁舎中庭入口（1階）または市民生活課（2階）奥の階段からお上がりください。インターネットでも、生中継、過去の録画（過去5年間分）を視聴できます。

■会議録の閲覧

本紙掲載の代表質問と一般質問は、質問議員自らが要約したものです。詳しくは市立図書館、情報公開センターで2月下旬から閲覧できる会議録をご覧ください。ホームページでも2月下旬から検索・閲覧できます。

代表質問

関新市長の市政に対する考え方は



動画視聴

社民・国民民主・護憲クラブ
松尾 哲也 議員

から進めている。
る。

問 他市からの生徒の受け入れは可能か。

答 まずは市内居住者と考えるが、県と協議しながら検討したい。

問 地域で心配されている方もいるが、今後の説明は。

答 DVD等映像や資料を使いながら、周知していきたい。

再発言 誤解が生じないように丁寧な説明を要望する。

小中学生のSNS問題

問 事件が多発している小中学生のSNS問題に対する本市の取り組みは。

答 携帯電話などの利用に関する指針を作成し、全家庭へリーフレットを配布している。

今後も児童生徒の指導や地域・保護者との連携を継続していきたい。

問 第34回人権フェスティバルでのインターネット被害に関する講演を受けて、今後の対応は。

答 家庭・地域・関係団体との連携を図りつつ、子供たちへ幾重にも指導していきたい。



人権フェスティバル

大牟田市あらゆる差別の撤廃をめざす人権擁護条例

問 条例改正による市の役割は。

答 これまで同様、人権に係る教育啓発を行い、市の役割である相談体制の充実を図るため、職員等のスキルアップなどに努めていく。

また、国が実態調査を行う場合に、円滑に実施できるよう協力していきたい。

問 具体的に市の役割である相談体制の充実とは。

答 庁内の相談窓口と問題解決に近い関係機関との連携を一層強固なものにしていきたい。

再発言 国のアンケート調査・実態調査と連動して、本市独自の取り組みを要望する。

交通問題

問 市長に就任されて本市の公共交通に対する思いを聞きたい。

答 近隣市町と比べて交通インフラが比較的整ったまちだと考える。

高齢化が進む中、高齢者等の移動手段の確保を早急に検討していく必要がある大きな課題と認識している。

問 地域公共交通網形成計画策定から間もなく2年が経過するが、見直しの進捗状況は。

答 計画は平成30年度から令和4年度まで5年間で、中間年の令和2年度に評価を行い、必要に応じ見直しを検討する。

市長の政治姿勢

問 市長選挙に初当選されたが、率直な感想は。

答 市民からの信頼と期待を受けとめ、全身全霊で職務に務める。

問 市庁舎整備に対する市長の考えは。

答 本館の取り扱いや庁舎の位置など市民の意向を十分に把握するため、議会の意見を踏まえながら、アンケートをできるだけ早く実施したい。

問 市長が目指す人口減少対策は。

答 若者が安心して働ける雇用の場をふやし、子育て環境を整えることで、人口減少の抑制につなげていきたい。

問 大牟田市内の中小企業への就職支援をどう考えるか。

答 企業紹介の取り組みを強化し、雇用の場を知ってもらうことを進めていきたい。

夜間中学

問 九州初となる公立夜間中学設置の進捗状況は。

答 県と連携・協議を図りな

大牟田3駅を核としたまちづくり



動画視聴



自民・未来クラブ
光田 茂 議員

市長の思い描くまちづくり

問 市長の選挙戦では、三つのまちづくりを掲げられた。その具体的な内容を聞きたい。

答 若者が夢を持って働くまちづくりでは、イノベーション創出拠点づくり、AI・IT企業や研究開発型企業の積極的誘致など。子育て世代に魅力的なまちづくりでは、待機児童ゼロや子ども医療費助成の継続発展と、ESDやユネスコスクールの取り組みとブランド化や小中一貫校の開設。安心して元気に暮らせるまちづくりでは、地域資源を生かした広域観光振興や、スポーツを活用した交流人口の増加に取り組み、災害に備えた自助・共助・公助の役割に応じて必要な支援を行い、十分な災害対応体制を整える。

大牟田3駅を核としたまちづくり

問 新大牟田駅南側産業団地の整備では、まちづくりの観点を持って、情報関連企業やホテルの誘致など本市の取り組みが弱かった産業の誘致を

すべき。また、交通アクセスの改善と新幹線さくらの停車本数増などJRへ要望すべきと思うが。

答 このエリアは、本市の重要な広域交

流拠点であり、宿泊施設をはじめ飲食店や物販などの商業サービス関連産業の導入に取り組む。産業用地については製造業のみならず、情報関連産業や研究開発型企业などみずからトップセールスを行い、多くの若者が地元で働けるよう取り組んでいく。

また、交通アクセスも検討を進め、さくらの停車本数増も引き続きJR九州に要望していきたい。

問 大牟田駅周辺の整備で東口にホテルを誘致すべきでは。

答 新たな宿泊施設の誘致が必要であると考えます。

特に大牟田駅はJRと西鉄を結ぶ交通結節点であり、駅東口のシティコート等の活用に向け協議を進めている。

学校教育の充実

問 市立学校適正規模・適正配置計画第2期実施計画で松原中学校を特色化、継続させるに至った経緯は。

答 まちづくりの視点からも検討し公共交通機関の利便性が高く、今後も人口密集が続く市中心部の駅西側の都市機

能が大切と考えた。また、小中一貫校を推進することで学力向上や英語教育の充実を松原中学校校区で図りたい。

大牟田市総合体育館整備基本計画

問 今年度策定予定の総合体育館建設基本計画の進捗状況を聞きたい。

答 市民のスポーツ活動、健康づくりの新しい拠点となるよう、機能や規模、整備手法の課題の整理を行っている。

財政負担軽減のため、国の補助制度の活用やローコスト・工期の短縮など事業費の圧縮につながる工法も検討等を行い、慎重に取り組みたい。



現在の市民体育館 S49築

東京2020オリンピック

問 本市の聖火リレーへの対応を聞きたい。

答 2020年5月12日に福岡県のスタート地として、市役所前から諏訪公園までのルートが発表された。

聖火ランナーの一人は、大牟田高校柔道部の森健心さん。今後、走行ルートの安全確保や警備計画を警察署や関係機関と協議を進め、万全の体制を整え、市民とともに盛り上げていきたい。

代表質問

明るく希望ある大牟田市の実現に向けて



動画視聴



公明党議員団
平山 伸二 議員

市長の政治姿勢

問 関市長が初登庁され、職員に訓示された3点、1.市民に寄り添った行政。2.どうしたら出来るかを考えて欲しい。3.スピード感を持って仕事を。これに対する市長の考えや思いを聞きたい。

答 1は、市民の方々からの相談は複数の部署にまたがるものもあるため、相談を受けた職員が他の部署と調整したり、一緒に相談に応じるなど責任を持って対応すること。2は、難しい課題も多く、何が課題か、どうすればクリアできるのかを、一緒に考えていきたい。3は、チャンスを逃さずスピード感を持って取り組み、大牟田の発展の芽を伸ばしていきたい。

これらを市長が一番に行い、職員と共感し一丸となって大牟田の未来をつくりたい。

問 人口減少に歯どめをかける方策としての企業誘致について、市長の考えを聞きたい。

答 本市は一定の産業集積や県内でも優れた広域交通ネットワークを有するなど、企業

誘致にとって優れた投資環境を備えていると考える。

私が先頭に立ちトップセールスを行い全力で企業誘致に取り組んでいきたい。

問 新栄町駅前地区市街地再開発事業の推進に関して市長の考えを聞きたい。

答 本市にとって、街なか居住の推進や交流人口増加によるにぎわい創出など、中心市街地の活性化に大きく寄与する重要な事業である。

引き続き支援を行い再開発事業の実現に向け関係者と一丸となり全力で取り組みたい。



現在の新栄町駅前地区

問 市庁舎整備の検討の進め方について市長の考えは。

答 市民の皆様から様々な意見をいただいております。現在論点となっている本館の取り扱いや庁舎の位置など、市民意見を把握するために、わかりやすいアンケートを早期に実施したい。また、内容に関しては、議会の意見を十分踏まえ検討していきたい。

再発言 新たなアンケートは、市民にわかりやすいもので、きっちり決める内容となるようしっかり取り組んでほしい。

問 市民体育館の整備建て替えについての市長の見解は。

答 市民体育館は老朽化が著しく、旧耐震基準の建物であることなどから、早期の建て替えが必要であると認識している。

新しい体育館は、競技スポーツ、生涯スポーツや健康づくりの場として、新たなまちづくりの拠点となる総合体育館を整備したいと考えている。

国の補助制度などを活用し財政負担の軽減に努めていく。

夜間中学

問 中学校夜間学級（夜間中学）の市民周知の方法について聞きたい。

答 今後の市民への周知啓発については、12月より順次各小中特別支援学校、PTAや各校区まちづくり協議会などへ学校再編の説明会を行う中で夜間中学設置についても周知を図りたい。

市民の健康維持対策

問 市民の健康維持の※フレイル予防について、今後どのような推進をするのか聞きたい。

答 フレイルへの早期かつ適切な介入により、健康寿命を延ばす取り組みが重要であると考えている。

このため現在、大牟田医師会や帝京大学と連携し、新たなフレイル予防事業の構築に向け、協議を進めている。

※フレイル…加齢により心身の活力（筋力認知機能、社会とのつながりなど）が、低下した状態。

一般質問



大牟田市ごみ処理基本計画

問 前計画の期間満了に伴い、新たに策定された大牟田市ごみ処理基本計画の基本的な考え方・方向性を聞きたい。

答 三つの基本方針（排出抑制の推進・資源化の推進・適正処理の推進）に基づいて、ごみの減量化・資源化をなお一層推進していく。

再発言 特に排出抑制の推進・資源化の推進には、市民・事業者の理解と協力を得ることが必要不可欠であり、そのためには、きめ細かな説明と啓発活動が重要。

自転車保険の義務化

問 急速に全国の自治体で、

自転車保険の義務化が始まっている。

この自転車保険の加入義務化に対する本市の考え方を聞きたい。

答 自転車による死亡事故の加害者になった場合に、高額な損害賠償金が発生することもあるため、自転車保険の必要性はあるものとする。

県では加入を義務化する条例改正を検討しており、その動向を注視し、市としても自転車保険の加入義務化についての周知・啓発に努めたい。



地域の魅力を高め、地域に愛される街路樹像

問 街路樹は、都市の価値を高める非常に重要な要素ではないかと考えているが、本市において街路樹に関する方針

が示されていないため、街路樹を適正に管理し、都市の魅力を向上させる資源として活用されていないのではないかと。

少子高齢化・人口減少が進む中、魅力ある選ばれるまち大牟田のブランディングのため、街路樹に関する基本方針の策定が必要ではないかと。

答 まずは、他都市の事例を調査研究したい。

地域に愛され親しまれる身近な公園（街区公園）の多様な利活用

問 子供から高齢者まで住民

が行きたい、遊びたいと思わせる芝生の広場を専門業者を必要としない鳥取方式により創出したり、公園を市民協働による菜園・果樹園・バラ園等のコミュニティーガーデンとして活用し、高齢者の外出機会や生きがい創出、地域の憩いの交流の場とするなど見直し、利用者の視点に立った市民が使いたいと思う多様な公園の整備が必要ではないかと。

答 パークマネジメントのあり方について、今後、検討が必要と考えている。



子育て支援

問 幼児教育・保育の無償化が10月より実施されたが、事業者や利用者からの問題は、

答 無償化の実施から2カ月

余りだが、大きな混乱もなく、利用者や事業者からは問題等の声は寄せられていない。

問 園外活動などにおける保育施設等周辺のキッズゾーンの整備を含む安全対策は、

答 小学校等の通学路に設けるスクールゾーンに準ずるキッズゾーンの設定について、まずは事業者、国県市の各道路管理者及び警察と連携し、情報収集、共有等に努める。

再発言 本市の交通安全対策を推進し、キッズゾーンの整備も進めてもらいたい。

夜間中学

問 夜間中学を松原中学校に設置される経緯と効果は、

答 公共交通機関の利便性が高く、今後も人口密集が続く市中心部の駅西側において都市機能の役割を果たしている。夜間中学の設置により、学び直しや外国籍の方の受け入れなど、多様な方々の学ぶ場や交流拠点としても期待できる。

再発言 夜間中学設置については丁寧に推進されたい。

一般質問



動画視聴



自民・未来クラブ
森 遵 議員

雇用の場の創出

問 市長の市政公約のAI・IT企業、研究型企業の誘致について、具体的にどのように取り組むのか。

答 現在、企業の意向調査を行っているが、私自身のトップセールスを含め、企業への訪問活動を強化していく。

再発言 企業向けシティプロモーションや民間の知恵を借りるチームづくりなどをして、積極的に取り組まれないか。

問 新大牟田駅を生かしていくためにも、駅南側の産業団地に次ぐ団地整備を早めに着手してもらいたいと思う。

答 次の産業団地の検討は、準備、協議を県も含めて早急に進める必要があると考える。

公立高校・大学の充実・誘致

問 県の管轄だが、県立高校の現状について市長の考えは。

答 本市の教育水準の向上や活性化にもつながるため、県とのネットワークも使い、さらなる充実を進めていきたい。

問 大学の学部新設や誘致に対する考え方は。

答 取り組みを進めていく必要があるが、まずは、既に協力関係にある高等教育機関とのつながりを深めていきたい。



動画視聴



自民・未来クラブ
中原 誠悟 議員

重要港湾三池港の利用・整備促進

問 輸出貨物を増やすための例年とは違ったアプローチは。

答 輸出貨物における荷主助成金額を増額している。

問 四山地区緑地整備の着工と地元説明会の開催の予定は。

答 港湾管理者の福岡県から、令和2年度着工の予定であり、市民への周知等の方法は今後検討していくと聞いている。

本市における公共工事の発注

問 公共工事の施工時期の標準化と早期発注の取り組みは。

答 年度末に工事が集中しないよう工事発注部局へ文書で周知し、徹底に努めている。また、年度内完了が見込め

ないものは、翌年度初めにできるよう手続きを行っている。

問 市内業者優先発注の取り組みと現状は。

答 一般的な工事は、地域要件を定め優先発注に努めている。市内業者で対応できない工事については、特定建設共同企業体方式により、市内業者の参入が可能となるよう取り組んでいる。また、可能な限り分離・分割発注にも取り組んでいる。これらにより平成30年度の市内業者の契約割合は96.4%となっている。



動画視聴



自民・未来クラブ
徳永 春男 議員

花ぶらす館の指定管理者変更

問 花ぶらす館の指定管理者の変更における引き継ぎ過程では、どう対処していくのか。

答 施設管理の各種契約など、

内容は多岐にわたるため、新旧指定管理者間での引き継ぎが円滑に進むよう、議決後具体的な協議や調整を行う予定。

若者（新卒者）の市外流出防止

問 人口減少抑止は、若者の市外流出防止にあり、その対策として企業紹介冊子の配布、企業フェスタの開催、就職ガイダンスでのUターン者の講演などがあると思うが、当局の考えは。

答 企業紹介冊子の作成等の

情報発信事業は、引き続き人材確保推進事業実行委員会等の中で協議を重ねていきたい。

校区まちづくり協議会の運営改善提案への取り組み

問 校区まちづくり交付金の見直しと校区コミュニティセンター管理費用の改善は。

答 みずからの判断で選択し、活用できる交付金制度の構築や校区コミュニティセンター活用に対する支援策拡充といった方向性を踏まえ、次年度への反映に向け検討を進める。



**深刻な「8050問題」など
ひきこもり者の把握を**

問 ひきこもりについて、市として把握している現状は。
答 独自の調査は行っておらず、実態は把握できていない。

再発言 ひきこもりの相談窓口がわかりづらい。誰にも相談できず、また相談しようとも思わない方の姿は全く見えていないのが現状だと思う。

ひきこもり者への理解を深め、支援体制の強化を

問 背景に日本社会の矛盾があり、誰もが生きづらさを抱えていて、誰もがひきこもる可能性がある。公務に当たる方等がひきこもりを理解する学習会に取り組んではどうか。
答 多くの人が理解を深める

一般質問・トピックス

ための取り組みを行ってみたい。

問 公的な機関に明確な看板を掲げる必要を感じるが。

答 福祉課総合相談窓口の案内板にひきこもりの対応窓口であることを追記したい。

問 ひきこもり支援の専任者を配置してもらえないか。

答 よろず相談員を中心に、多職種が協働したチームアプローチで臨むことにしている。

再発言 義務教育後の若い世代のひきこもりを長期化させない取り組みもお願いしたい。

行政視察受入 (10月~12月)

月	日	都道府県	団体名	視察項目	
10	3	岡山県	井原市議会	議会改革及び議会活性化の取り組み	
	8	東京都	羽村市議会	大牟田移住・定住 動物愛護の観点からの園運営	
	9	熊本県	上天草市議会	議会基本条例に基づく議会改革の取組み	
	10	岐阜県	各務原市議会	おおむた・みらい・ESD推進事業	
	11	佐賀県	佐賀県議会	官民協働プラットフォームを活用した「問い」「学び」「協創」の未来都市創造事業の概要	
	17	青森県	弘前市議会	大牟田・荒尾共同浄水場施設等整備・運営事業	
	25	長野県	伊那市議会	おおむた・みらい・ESD推進事業	
	30	栃木県	那須塩原市議会	大牟田市地域コミュニティ基本指針	
	11	6	愛知県	豊田市議会	おおむた・みらい・ESD推進事業
		7	愛知県	愛知県議会 刈谷市議会	おおむた・みらい・ESD推進事業
12		愛知県	津島市議会	大牟田市居住支援協議会	
13		宮城県	多賀城市議会	上下水道一体化	
14		埼玉県	越谷市議会	SDGsの取り組み	
12			なし		

**スマートフォン、タブレットでも
議会中継が視聴できます。**

大牟田市議会では、本会議及び予算・決算特別委員会の生中継と録画中継をインターネット配信しています。配信システムの変更により、以前からのパソコンによる視聴だけではなく、スマートフォンやタブレットパソコンからも視聴できるようになりました。どうぞご利用ください。

左のQRコードからも視聴できます。
各議員の質問のページのQRコードからは直接視聴できます。

**今年も完走しました！
リレーマラソン**

「走って、つないで、めざせ完走！」第3回FMたんと42.195kmリレーマラソンが、昨年11月に諏訪公園で開催され、大会には大牟田市内のほか福岡、熊本、佐賀などから131チーム、1,125人が出場。各チーム周回コースを、たすきをつないで30周しました。



今回も大牟田市議会は事務局との合同チームを編成し、30歳代から60歳代までの10名で出場。しっかり練習をして臨む議員、ほぼぶっつけ本番という議員と様々。

議長をはじめ各議員、事務局職員も多数応援に駆けつけ、「参加することに意義がある。制限時間内のゴールは難しいだろう」と和やかな雰囲気の中スタート。

しかし、いざ走り出すと昨年同様今年もやはり本気モード。制限時間4時間以内のクリアを目標に、チーム一丸となりたすきをつなぎ激走。見事走破することができました。

出場議員からは「完走できて良かった。団結も深まった」、「来年に向け練習開始！」と笑顔。日ごろの運動不足か、筋肉痛に悩まされた議員もいましたが、市民の皆さんとともに楽しい貴重なひと時が過ごせました。

皆さんも出場されてはいかがでしょうか。

おおむた自慢

～私たちの暮らしを支える政治～

中友小学校6年生が議員に質問

大牟田市立中友小学校（島津義浩校長）6年生が、社会科で学んだ「私たちの暮らしを支える政治」のテーマをもとに、政治についての疑問やまちの課題などについて学ぼうと大牟田市議会議場で校外学習を行いました。

大牟田市議会では市民の皆さんから直接、意見や要望をお聞きする議会報告会を毎年開催していますが、将来を担う子どもたちと直接、懇談することができるよい機会でもあるため、議会運営委員会と広報広聴委員会の委員が中心となり校外学習に協力しました。

校外学習では議会の雰囲気を感じてもらおうと、議場で説明や質疑応答を行いました。ふだん、議員が座る席に着席した子どもたちは、緊張した面持ちで市議会事務局から、本市の状況や主な事業、議会のしくみ、取り組みなどの説明を受けました。その後、子どもたちからの質問を受けました。



どうして議員になろうと思ったのですか



質問内容は「どうして議員になろうと思ったのか」「議員になって大変なことやよかったことは」といった議員に対するものから「議会で質問するときはどのような観点からしているのか」「大牟田市や議会ではどのようにして人々の願いや意見を聞いているのか」といった議会についての質問などがありました。

そのほかまちづくりについて「大牟田市の税金はいくらあってどんなことに使われているのか」「大牟田市

議員になって大変なことやよかったことは



にはどんな課題があるのか」「市

庁舎の建て替えについて議員さんはどんな考えを持っているのか」「街灯がなく暗くて怖い場所があるがどうしたら

いいのか」などの質問もあり、参加した議員で誠心誠意、答弁しました。

大牟田市の課題は



見学された保護者の皆さんからも「私も質問したかったです」「初めて議場に来ました」「親子で貴重な体験ができました」など感想をいただきました。

大牟田市議会では議会改革に取り組んでいます、

税金はどんなことに使われていますか



今回の校外学習での経験も参考と

し、さらなる広報広聴の工夫をしながら様々な機会を通じ

て市民の皆さんの声を市政に反映していきたいと思えます。

編集後記

小学6年生が、まちの課題について考え、市議会の役割を学ぶという校外学習が本会議場で行われました。（今回の表紙やおおむた自慢で紹介）主権者教育の大切さが指摘されていますが、このような学習体験を通して政治への関心の高い市民に育っていかれることと期待しています。私たち議員も、未来を担う子どもたちに恥じぬよう、日々しっかりと研鑽を積んでいかなければと、改めて気を引き締めています。（H）

編集 広報広聴委員会広報部会

【委員長】三宅智加子 【副委員長】島野知洋

【委員】森竜子 山田修司 平山光子 崎山恵子

発行 大牟田市議会

〒836-8666 福岡県大牟田市有明町2丁目3番地

TEL 0944-41-2800 FAX 0944-41-2880

E-mail e-gikaijimu01@city.omuta.fukuoka.jp

印刷 精巧印刷株式会社